

各種地図調整・印刷／地理情報システム
立体地図・地図模型・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力



株式会社 **アルプス出版**社

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンナゴヤ 6F

TEL052-931-1009 FAX052-932-1312

http://www.alpspublishing.co.jp/

企画・制作：株式会社 新聞ビル

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職 —自分ドラマつくろう— (131) 岡田 清 治



■プロフィール

著者：岡田 清 治 (おかだ・せいじ)

1942年生まれ ジャーナリスト(編集プロダクション・NET108代表)

著書に『高野山開創千二百年 いっぱんさん行状記』『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか』『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を下記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込む
ことを試み、一緒に考えます。
F A X: 0569-34-7971 メール:takamitsu@akai-shinbunten.net



【写真】外の景色は寒波の襲来で雪の花が美しいが…(著者撮影)

ドラマは続く

帰る当てのない兵隊たちと一緒に伊丹で開墾しながら時を過ごした。妻の正子はなかなかの社交家でGHQの幹部に取り入り夫に仕事を回してもらっていた。しかし、自動車隊の連中は地方出身者が多く、世の中が落ち着いてくると、それぞれの出身地に帰っていった。一人だけになった忠信もついに千早村に引き上げる決心をした。

「齊造、役場からお前を寄こしてほしいと頼まれた」

父親の藤太郎は毎日、ぶらぶらしている齊造を見かねたのか、役場に勤めることをすすめた。村長が交代し、新村長を藤太郎が支持したこともあつて、息子に協力させる約束をしていたのだ。

役場に出て一週間目に収入役となる。公職追放令で役場の大半の幹部が辞めていたことと、大学出が評価された。ただ、公金を扱うのに独身で大丈夫かと村議会で問われた。一年後には助役に昇進する。弱冠二六歳である。

旧幕時代から明治五年まで、村政は庄屋(年寄)が取り仕切った。この年四月、戸長、副戸長制が設けられ、明治二十一年市町村制が公布。千早村の初代村長に尾花哲平が選出され、以来昭和二十一年に新しい選挙法が施行されるまで村議会で村長を決めていた。大正三年から昭和三十年九月まで長期にわたり在職していた杉田蜜治に代わつて、藤太郎ら村の有力者が道田保を推薦、村長に就くが、一期三年で自発的に辞めた。

「齊造、お前、村長になれ」

役場から帰宅した齊造に父親の藤太郎は命じた。齊造は村の有力者である父親が応援するというし、助役に就いているから村長になつても不自然なことはない、と、村長選に出馬しようと決断した。それにはまず、結婚しないと社会的信用が得られず、不利だろうと考え、齊造は結婚を急いだ。

藤太郎も息子に頼まれて嫁探しに乗り出した。齊造は自らも探そうと、女子中学校の卒業生には適齢期の女性がたくさんいるのではないかと、紹介者も介さず校長を訪ねた。学校の守衛は新任の先生かと思つたのか、片桐を校長室に案内した。初めて会う女子中の校長に事情を話し、嫁の世話を頼んだ。

「ちよいとよい女性がいますよ。わしの住んでいる橋本の医者のお娘なんだが…」

見合い結婚だから、本人同士より両親が意気投合すれば早い。藤太郎も少しも気に入った。話とはとんとん拍子で進んで、富田林市内の旅館で式を挙げた。モノのない時代だから結婚式といつても、親類みんなが食べ物を持参して祝った。

「将来は政治家になるつもりや」

二人きりになったとき、齊造は熱っぽく自分の

進路について新妻の澤子に聞かせた。

いつしか千早村の家には、両親、兄夫婦、そして新婚はやほやの齊造夫婦と三組が同居した。初めのうちは、なんとかやっていたが、ものの三ヶ月も経つと精神的にまいってきた。二組の夫婦でも難しいと言われるのに、三組ともなると、どうしようにもならなくなった。忠信や齊造はこの家が生家だからまだしも、それぞれの嫁、母親ら女性の方から毎日のように苦情を聞かされる。

「僕はこの家を出る。一度は齊造にこの家を継いでもらうと言ったのだから、そうしたい」

兄、忠信の決意は固いと、父親の藤太郎は判断、忠信の申し入れを受け入れた。忠信は一時、妻正子の実家に身を寄せることになった。

千早村の山道をジープが走る。荷台に白いタスキをかけた男が立つて手を振る。片桐齊造である。昭和二十三年の夏、千早村長選が始まった。

対抗馬は農協の専務理事の鎌谷勇治だと知つて、二十九歳の齊造は出馬を取り止めたといふ父親の藤太郎に願ひ出た。鎌谷は五十歳で村の有力者の一人だったからだ。

「男が一旦、決断したからには最後までやり通せ」

齊造の頼みは聞き入れられない。藤太郎は農協時代の鎌谷をよく思っていないらしく、この選挙でかつての恨みを返そうとしていた。齊造が出馬を取り止めようなら、鉄砲で後ろから殺られると思うほどの気迫が藤太郎にはこもっている。父親の目を見ていると、勝てるような気がしてくるから不思議だ。

「やるしかない」

齊造は兄の忠信がGHQから調達してきたジープに乗って金剛山の麓の千早村を駆け回っていた。

選挙も終盤を迎えたある日の夕方、奥千早に遊説に出かけた。ここは鎌谷候補の地盤である。奥千早には高野豆腐で知られる天然凍豆腐業者が百軒近く集まっていた。高野山でなぜ凍豆腐が発達したのか、よく解っていない。千早赤阪村誌によると、古来から豊富な森林資源と美しい水と冬期の余剰労働力、そして大阪、堺の広大な消費地に近いという副次的条件に恵まれたからだとしている。

そういう土地だから片桐は怒号の中で約十分間、自分の考えを主張した。演題を離れる片桐の背に再びヤジが乱れ飛んだ。二十九歳の青年助役の演説はきれいに過ぎた。

その夜、片桐の家の前の田んぼで小作人として働いている小杉弥吉という男が片桐の自宅にやつてきた。

「どんな、奥千早の連中は十数万円で買収に応じるということですが…」

確かな情報だという。齊造の支持者が集まっている座敷に伝わる。みんなの目は弥吉に向けられた。

真三はここまで読んだとき、るり子がお盆にお茶と和菓子をものせて部屋に入ってきた。

「服されてはどうですか」

「そうだな。おいしそうな和菓子だな」

「これ、京都の老舗という老舗の和菓子で、とっても上品な味で以前から好きだったんです。友人が送ってくれたのです」

「そうか、では一ついただかこうか」

「どうぞ、召し上がってください」

「それにしてもオミクロンですか、ものすごい感染力ですね」

「そうだな。それでも欧米と比べたら桁違いに日本は少ないね。オミクロンは重症化しないということだったが、感染数が増え、高齢者に拡散していくので増えているよな」

「政府は万延防止措置をとったのですね。」「かつぱの女将さんも困つておられるでしょうね」

「そうだな。あそこは少人数でやっているから、なんとか切り抜けているように思う。これまで、敗けるものかの意気込みでやつてきたから…」

「三分、集まれませんか」

「三人だったら大丈夫だと思うが、今回は見送った方がよさそうだね」

「それにしてもワクチン接種券が遅いですね」

「感染がピークアウトしてから届くのではないかと…」

「ファイザー製のワクチンの人気があつて、そのほかのワクチンの人気がないのですね」

「そのようだね。政府はモデルナでも副反応はほとんどないというが、国民も政府の言うことを信じていないのだな」

「政治は信なくば、立たずといいますが、苦しいでしょうね」

「ぼくはこれが続くと、日本は敗戦後とは違った傷跡を見ることになるのを心配している」

「どうなるのですか」

「よくわからないが、いろいろな仕組みが大きく変化するように思える。通信手段だって様変わりしてしまう。そのため人々の行動がデジタル社会に合わさなければ生きていけない。それは静かな革命のようなものだ」

「わたしなんか、スマートフォンもろくに操作できない人間にとっては嫌な世の中になりますね」

「そうだね。買い物一つでなくなる。いまだってインターネットでしか買えないものも少なくない。新聞やラジオ、テレビそして映画館なども激変するだろう。例えば、映画などアプリを使えばいつでも、どこでも観られるというのだ」

「老人は消えると言われるようなものですね」

「老人だって格差が生じるだろう。便利な一面、やっかいなことになる」

「科学技術の発展はいつの時代も変えていきます」

「今回の変化は、見えない革命だ」

私の出会った作品 (69)

杉本武之

◎中野孝次

中野孝次という名前を聞いてもすぐにピンと来る人は少ないと思います。しかし、『ハラスのいた日々』や『清貧の思想』を書いた人だと聞けば、「読んだことはないが、そういう本のことばないか、そうがある」と思い出す人は多いでしょう。

昭和62年（1987）に『ハラスのいた日々』（文芸春秋）が刊行されました。犬の好きな私はすぐに買い求めて読みました。深く感動しました。

平成4年（1992）に『清貧の思想』（草思社）が刊行されました。世評が高く、私も読んでみたくなり、本屋に急行して買い求め、夢中になって読みました。

平成7年（1995）に『良寛の呼ぶ声』（春秋社）が刊行されました。良寛に興味があった私は、すぐに買って読みました。良寛のことがよく分かったような気がしました。

このようにして私は中野孝次という真摯な作家・評論家のことを知りました。

大正14年（1925）1月1日、千葉県東葛飾郡市川町（現・市川市）に生まれました。

昭和14年（1939）3月、市川尋常高等小学校を卒業。2年後、高等学校高等科入学資格試験に合格。予備校で勉強して、昭和19年、熊本第五高等学校の入試に合格。

昭和20年1月から熊本市陸軍の航空機製作所に学徒動員。5月、召集されて宇都宮の連隊に入営。8月15日、終戦。10月、熊本の高岡に戻った。

昭和22年3月、五高卒業。4月、東京大学ドイツ文学科に入学。

昭和25年3月、東大卒業。4月、東大文学部大学院に入学。

昭和27年3月、東大文学部大学院を修了。4月、大学退職。

昭和62年、『ハラスのいた日々』を刊行。

平成4年、『清貧の思想』を刊行。

平成7年、『良寛の呼ぶ声』を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。



『中野孝次』

昭和27年3月、東大文学部大学院を修了。4月、大学退職。

昭和62年、『ハラスのいた日々』を刊行。

平成4年、『清貧の思想』を刊行。

平成7年、『良寛の呼ぶ声』を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

昭和56年3月、国学院大学に「死に際しての処置」を刊行。

を書きました。私も死んだら、こういう処置をしてもらいたいと思っています。少し長いですが、全文引用します。

「死に際しての処置」二〇〇一年五月三日、記す。医師により死が確認せられたる時は、近親者と、別に指名せる編集者にのみにこれを知らせ、それ以外の者に知らせるな

かれ。近親者とは、予と秀（注・妻）の姉妹弟とその伴侶なり。一、密葬に必要なかぎり葬儀屋に依頼すべきも、葬儀屋の言う通りにすべからず。

一、湯帷子の如き、草履、脚絆の如きは一切用うべからず。海島綿の下着をつけ、平常好んで着たるシャツに、ズボン、上着を

一、小林和尚が浄土宗の流儀にて葬儀を行うは、これに従うべし。以上なり。予はすでに墓誌に記せる如く、十九歳、第五高等学校に遊学以来、文学を愛し、生涯の業とせり。戦後の窮乏

着せ、生ける時の如くすべし。死体の処置を近親者に限るは第三者に死顔を見せざるためなり。

一、飾りなき車にて棺を運び茶毘に付すべし。一、骨を信州須坂浄運寺に運び小林覚雄和尚により簡素なる密葬を行うこと。このことは新聞紙上に公表して可なり。来る人が来ればよし。

一、死後「お別れの会」の如きはすべからず。一、要するに、すべて最も簡略に迅速に事務的にやつて貰いたい。死はさしたる事柄に非ず。生の時は生あるのみ、死の時は死あるのみ、悲しむべきことに非ざるが故に。

一、小林和尚が浄土宗の流儀にて葬儀を行うは、これに従うべし。以上なり。予はすでに墓誌に記せる如く、十九歳、第五高等学校に遊学以来、文学を愛し、生涯の業とせり。戦後の窮乏

時代には文学を以て生きること、はなはだ困難なりしも、素志を貫き、以来、ただ文学一筋に生きたり。これを誇りとす。また、成瀬秀と結婚し、

先年、金婚の祝いをせしまで、共に支え合い、つづがなく生きたことを幸せとす。

顧みて、幸福なる生涯なりき。このことを天に感謝す。

わが志・わが思想・わが願いはすべて、わが著作にあり。予は喜びも悲しみもすべて文学に託して生きたり。予を偲ぶ者あらば、予が著作を見よ。予に関わりしすべての人に感謝す。さらば。

〈良寛への憧れ〉中野孝次は江戸時代の禅僧・良寛の生き方に強く引き付けられました。彼の最初の本格的な良寛論『良寛の呼ぶ声』の中で彼はこう書きました。

「良寛は、ごく日常的なところから見ても、私とはずいぶん違う人である。彼は、草庵という極小点を住居とし、ほとんど物を所有していないの

に對し、私は、それに較べたらずっと大きな家に住み、多くの物を所有している。彼には、炬と最小限の食器、道具、寝具、衣類があるだけだが、私は、ほとんど不要なくらい多くそれらを持ち、ひねれば湯の出る水道管、洗濯機、冷蔵庫、炊飯器、暖房、クーラーなど、生活の利便と快適に恵まれている。

良寛とは世間一般の人間の生に対するクリテリウム（試金石とか判断基準）なのである。良寛に触れることで、世の人は自らの生き方を自ずと反省させられるのである。自分の生き方の正・不正、善し悪し、高雅か卑俗か、欲ばけかどうか、親切か冷酷か、慈愛か邪険か、そういう道德的な面のみならず、心のありようそのものをあぶり出されるような気がしてくるのだ」

中野孝次は、死ぬ前年、新潟県民文化祭で講演をしました。その時に、司会者から「現代の高校生や大学生に、良寛のことで何を伝えたいか」と問

われて、次のように答えました。

「自分で指示して、1週間なら1週間、粗食をし、テレビもケータイも無い生活をし、板の上に寝る。そういう生活を1週間に限ってやってみよう。そして、1日3食、それも間食はしない。腹が減ったら食うっていうのはなくて、3食きちんと食うという生活。そういう単純なことでもいい。とにかく、ゼロに身を置く訓練をしないさ」

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

犬と良寛について、私は彼から多くのことを学びました。

少人数での家族葬専用ホール

大阪屋リビング 常滑北

誠意を込めて安心のお手伝い

大阪屋葬祭

TEL0569-35-4949

●わーくーい知多協力店

大阪屋葬祭 | 検索

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380

TEL0569-73-6341

わが家のニューフェイス



岩野凧見(5才) 圭壱(1才) 茉見(2才) 武豊町

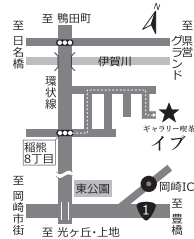
写真・文	よこから仲良く遊ぶ心	弟もなでかわけい	は、ねえねの事が大好きなん！	さんね怒られちゃけどほおと	ねえねとよくケンかして、お母	将来は歌手を目指そうかなあ	んが上手に歌えるようになりたいよ	大好好き♡最近、いぬのおまわりさ	名前前は、まみです！	しゃべりとお歌う事が	アンパンマン、お	名前前は、まみです！	こんにちは。私の
------	------------	----------	----------------	---------------	----------------	---------------	------------------	------------------	------------	------------	----------	------------	----------



中根由美子・中根啓 作品展



2022
3/8火~26土
[休日] 13日(日)、14日(月)、20日(日)、21日(月)
10:00~17:00
(初日13:00) (最終日15:00)



ギャラリー喫茶 イブ
愛知県岡崎市稲熊町8丁目169-6
TEL.0564-26-2113

美味しくて新鮮な地元、知多半島の生鮮食品や、自然の恵み
いっぱい、からだに優しい食材がおすすめ！

ISHIHARA
Quality Foods

常滑店

TEL 0569-35-5355

通常営業時間 AM9:30~PM8:30



ジェム電子水を使った手作りパン＆クッキーの店

パン工房グランピアン

健康管理は新聞配達で！

新聞配達員
大募集

●朝刊配達員

月給30,000~50,000円
(配達部数による)

●勤務時間

AM2:30~AM5:00内で
ご希望の1.5時間程度

●勤務日数

週2日~OK



訪問集金でお支払いの購読者の皆様へ

口座自動振替払いに
切り替えませんか？

お支払いが
ラクラク
あんしん！

メリットたくさん！

- 毎月決まった日に引き落とされるから
お金の管理がラク！
- 忙しい時間に手間を取らない！
- 不要な対面を避けられる！

ご利用可能な
金融機関

- ・JAバンク・三菱UFJ銀行
- ・ゆうちょ銀行・半田信用金庫
- ・知多信用金庫・西尾信用金庫



ほくもわたしも 新聞デビュー 中日 こどもウイークリー

バラエティー スタディー 歴史マンガ ずかん
チャレンジ ニュース ファミリー

「考える力」、「集中力」を身につける！ 親子で読んで 楽しんで学べます！

毎週土曜日のお楽しみ！ 月額550円(税込)

「中日春秋」で学力アップ!?
人間力もアップ!?

- 「中日春秋」の書き写しは
学力アップ・人間力アップの第一歩です。
- 総合的学力 ……すべての教材の学力アップの土台に！
- 応用的学力 ……問題を正確に把握する力・解答の解説を
適切に読み込む力
- 基礎的学力 ……読解力・語彙力・集中力・注意力アップ
- 日常的習慣 ……「中日春秋」書き写し
よむだけでも○！書き写せば○！

人間力
アップ!!



中日春秋書き写しに
チャレンジしよう！

中日春秋書き写し
専用ノート

1冊(1ヶ月分)

110円(税込)

各種お問合せはあかい新聞店まで

武豊 ☎0569-72-0356

常滑 ☎0569-35-2861